

卒業研究 (Graduation Research)						
本科	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担当	
機械電気	必修	5年	8	研究	機械電気工学科全教員	
【授業の概要】 高専の5年間にわたる一般教育・専門教育の総仕上げとして、各分野の調査・実験・解析・考察などを通じて、自主的研究能力あるいは創造的開発能力を養成するとともに、論文をまとめる能力を養う。高専教育の中で最も重要な科目として位置づけている。						
【授業の進め方】 4年次の工学セミナーにおけるテーマを再確認した後、それに継続する形で、文献調査、資料収集、研究計画作成、装置製作、実験・解析、考察を行い、卒業論文としてまとめ、発表する。卒業論文は論文集としてまとめ、発行する。						
【授業の概要】						
【年間スケジュール】 4年次の工学セミナーにおけるテーマの再確認 中間発表会（10月頃） 卒業論文の提出（2月頃） 卒業研究発表会（2月頃）						
配属先 材料系 工 作 (伊藤) 材料工学 (西村) エネルギー系 流体工学 (藤田、張間) 熱工学 (池田) 理論物理 (飛車) 基礎物理 (三浦) 計測制御系 電子制御工学 (牧野) 機械力学 (桜本) 応用物理 (石田) 情報機器学 (藤本) 環境計測 (北村) 計測制御工学 (森崎) 超音波工学 (鈴木)						
【到達目標】	自主的・継続的な研究を行い、途中経過を中間発表会、ポスターセッションで報告すること。定められた様式の卒業論文を提出し、卒業研究発表会で発表すること。					
【徳山高専学習・教育目標】	B2	【JABEE基準1(1)】		g		
【評価法】	卒業研究については以下の項目に基づいて総合評価する。 1 発表評価 (イ)発表態度(質疑応答も含む)(10%) (ロ)パワーポイント表現力(10%) (ハ)中間発表(質疑応答も含む)(10%) 2 論文評価 (ニ)自主的な取組みに対する評価(20%) (ホ)卒業研究論文(50%) 上記項目に対する評価の合計を最終成績とする。ただし、(イ)(ロ)の2項目については全教員の平均値とする。					
【テキスト】	徳山高専機械電気工学科卒業研究論文集(平成6年度第1号~平成23年度第18号)					
【関連科目】	機械電気工学科開設全科目					
【成績欄】	前期中間試験 【 】	前期末試験 【 】	前期成績 【 】	後期中間試験 【 】	後期末試験 【 】	学年末成績 【 】